

この度は、IDEC製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご注文の製品に間違いがないかご確認のうえ、この取扱説明書の内容をよくお読みいただき、正しくご使用ください。また、この取扱説明書はユーザー様にて大切に保管ください。

安全上のご注意

本取扱説明書では、誤った取り扱いをした場合に生じることが予測される危険の度合いを「警告」「注意」として区別しています。それぞれの意味は以下の通りです。

警告

取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

注意

取扱いを誤った場合、人が傷害を負うか物的損害が発生する可能性があります。

警告

- 本製品の分解、修理、改造を行わないでください。製品の安全性能を損なう原因となります。
- 取り付け、取り外し、配線作業および保守・点検は必ず電源を切って行ってください。感電および火災発生の原因となります。
- 本製品を使用の際は本書および最新のユーザーズマニュアル（形番：FS9Z-B1219）を良くお読みいただき、製品仕様に適した環境下でご使用ください。製品仕様を超えた環境下でのご使用は製品の安全性能を損なう原因となります。
- 本製品の設置、配線、設定操作は、「安全責任者」が行ってください。安全責任者とは、機械の設計・設置・運用・保守・廃棄の各段階において、安全確保を行うための権限および責任を有する人物を意味します。専門の知識のない一般消費者が扱うことはできません。
- 安全責任者は、規定の定期機能診断間隔で本製品の全ての機能が満足することを確認してください。

- 本書およびユーザーズマニュアルの記載の指示にしたがって取り付けてください。取り付けに不備があると落下や故障の原因となります。
- モニタ出力およびソレノイド/ランプ出力を安全出力として使用しないでください。本製品および周辺機器の故障時にシステムの安全性能を損なう原因となります。
- スタートスイッチは危険区域の外で、人が危険区域に存在しないことが確認できる安全な場所に設置ください
- スタート入力および外部デバイスモニタ入力を安全機器を使用した安全入力として使用しないでください。本製品および周辺機器の故障時にシステムの安全性能を損なう原因となります。

- 本製品は、ご使用になる国の法規制に適合するよう、ご使用ください。
- 安全入力および安全出力は、安全要求および使用用途に適合した回路構成でご使用ください。
- 本製品および本製品に接続される安全機器など、システムを構成する全ての機器の応答時間を考慮に入れ、安全距離の算出を行ってください。
- システム構成により、対応可能な安全性能が異なります。
- 電源は以下の要求を全て満足するものをご使用ください。
 - 本製品の電源定格に適合する
 - IEC/EN60950やEN50178などに規定されたSELVもしくはPELV回路に適合する
 - UL508もしくはUL1310で定義されるclass2回路の制限電圧電流機能がそれぞれ同等の機能を有する
- ご使用になる国における電気安全やEMCに関する法規制に適合する

- 地絡に対する故障診断のため、V-端子（DCOV）を接地してください。
- 新規の設定および設定の変更を行った場合は、必ず各入力および出力の機能確認を行ってください。
- 安全責任者以外の者が、配線や設定変更を行えないよう、保護方を講じてください。
- 本製品は、class2回路の要求事項を満たさない機器や配線と分離してください。

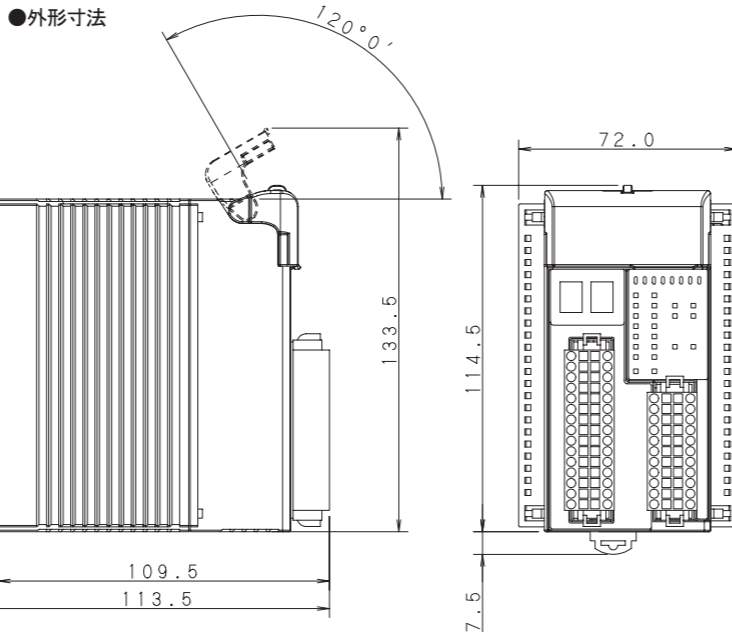
注意

- 本製品は、制御盤内への組み込み設置専用品ですので、制御盤外には設置できません。IP54以上のエンクロージャ内に設置してご使用ください。
- カタログ、ユーザーズマニュアルに記載の環境下で、ご使用ください。高温、高湿、結露、腐食性ガス、過度の振動・衝撃のある所でのご使用は感電、火災、誤動作の原因となります。
- 本製品の使用環境の汚染度は“汚染度2”です。汚染度2の環境下でご使用ください。（IEC/EN60664-1規格に基づく）
- 移動・運送時などに本製品を落下させないでください。本製品の破損や故障の原因となります。
- 設置・配線作業時に配線くずやドリルの切り粉などの異物が本製品内部に入らないように注意してください。配線くずなどが本製品内部に入りますと火災や故障の原因となります。
- メンテナンス性や通気性を考慮し、周囲取付物、発熱体および蓋面から十分なスペースをとって取り付けてください。
- 本製品は、35mm幅のDINレールを用いて設置し、本体両側には固定のためのBNL6形の止め金具（別売り）をご使用ください。
- コネクタへの配線は、適合したケーブルもしくは棒端子をご使用ください。
- 耐電磁環境性を確保するため、FE端子を接地してご使用ください。
- 本製品と半導体出力機器等で別電源をご使用される場合は、DCOVを共通にしてください。
- 入力および出力の配線は電源線、動力線と分離して配線ください。
- 出力端子に過電流が流れた場合、保護機能により出力をOFFします。しかし、過電流状態が長く続くと内部の保護素子が熔断するため、各端子に定格の2倍程度のヒューズを挿入することをお奨めします。
- 本製品の電源ラインの外側には、IEC60127承認品のヒューズをご使用ください。（セーフティワンを組み込んだ機器を欧州に出荷する場合に適用）
- 製品を廃棄するときは、廃棄される国の法規制に従い廃棄してください。

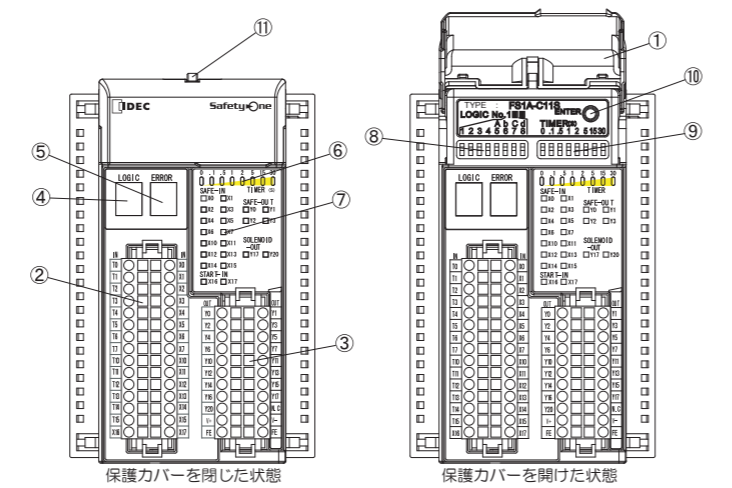
1 荷ほどき

お取り付けの前に、輸送中の事故などにより、部品の脱落や破損がないかどうかを確かめてください。

2 各部の名称・寸法



●名称と機能



- ①保護カバー : 設定部保護用カバー。ロックホールを使用することで設定者を限定することが可能。
- ②入力用コネクタ : スプリングクランプタイプ入力用コネクタ。（圧着タイプのコネクタも接続が可能）
- ③出力用コネクタ : スプリングクランプタイプ出力・電源用コネクタ。（圧着タイプのコネクタも接続が可能）
- ④ロジックLED : 設定されているロジック番号の表示
- ⑤エラーLED : エラー発生時のエラー番号を表示
- ⑥タイマLED : 設定されているタイマ値を表示
- ⑦入出力LED : 以下の入出力状態を表示
 - SAFE-IN : 安全入力X0~X15の状態表示
 - START-IN : スタート入力X16、X17の状態表示
 - SAFE-OUT : 安全出力Y0~Y3の状態表示
 - SOLENOID-OUT : ソレノイド/ランプ出力Y17、Y20の状態表示
- ⑧ロジック設定スイッチ : ロジック選択用DIPスイッチ
- ⑨タイマ設定スイッチ : オフティレタイマ選択用DIPスイッチ
- ⑩エンターボタン : 設定の有効化用ボタン
- ⑪ロックホール : 保護カバーロック用ホール

3 製品仕様

●一般仕様	
使用周囲温度（動作周囲温度）	-10~+55℃（氷結なきこと）
使用相対湿度	10~95%（結露なきこと）
保存温度	-40~+70℃（氷結なきこと）
保存相対湿度	10~95%（結露なきこと）
汚染度	2（IEC/EN60664-1）
保護構造	IP20（IEC/EN60529）
耐腐食性	腐食性ガスのないこと
標準	0~2000m（使用時）、0~3000m（輸送時）
耐振動性	振動： 5~8Hz 片側幅35mm 84~150Hz 加速度98m/s ² [XYZ各方向2時間]（EC/EN60068-2-6） パルス： 加速度98m/s ² 16ms [XYZ各方向1000回]（IEC/EN60068-2-29） 147m/s ² 11ms [XYZ各方向3回]（IEC/EN60068-2-27）
耐衝撃性	147m/s ² 11ms [XYZ各方向3回]（IEC/EN60068-2-27）
コネクタ挿抜回数	最大50回
設定スイッチ操作回数	最大100回（1種につき）
エンターボタン操作回数	最大1000回
筐体材質	変性ポリフエレンエーテル（m-PPE）
質量	約330g
推定寿命	10年（使用周囲温度40℃時）
過電圧カテゴリ	II

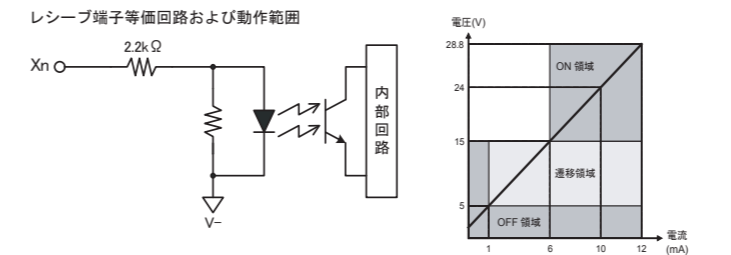
電氣的特性	定格電源電圧	DC24V
	電圧変動範囲	DC20.4~28.8V
	消費電力	48W（定格電源電圧 全入出力ON時 出力負荷含む）
	許容瞬断時間	最小10ms（定格電源電圧時）
	応答時間	ON-OFF : 40ms以下注1) : 100ms以下注2) OFF-ON : 100ms以下注3)
	起動時間注4)	6s以下
	耐電圧	充電部-FE間 : AC500V 1分間 筐体-FE間 : AC500V 1分間
	絶縁抵抗	充電部-FE間 : 10MΩ以上（DC500V×カ） 筐体-FE間 : 10MΩ以上（DC500V×カ）
	耐インパルスノイズ性（ノイズシミュレータ）	電源端子 : ±1kV 50ns、1μs 直結結合による 入力端子 : ±1kV 50ns、1μs カップリングアダプタによる
	電源突入電流	25A以下
誤接続の影響	逆極性 : 破壊しないが動作しない 不適切な電圧 : 永久破壊の可能性あり	
適用規格	IEC 61508 Part 1-7、EN ISO 13849-1、IEC/EN 62061、EN 61131-2、IEC/EN 61000-6-2、IEC/EN 61000-6-4、IEC/EN 61326-3-1、IEC/EN 61496-1、ISO 13851、UL 508、CSA C22.2 No.142	

- 注1. オフティレタイマ値の設定が即断の場合、安全入力がOFFまたは入力監視異常の発生から安全出力がOFFするまでの時間（オフティレタイマ値の設定が即断以外の場合、ON-OFFの応答時間は、この値にオフティレタイマ値をプラスしてください。）
- 注2. オフティレタイマ値の設定に関らず、入力監視異常を除く異常（内部回路異常など）や、ロジックまたはタイマ設定スイッチの変更を検出し、安全出力がOFFするまでの時間
- 注3. オートスタートの場合、安全入力がONしてから安全出力がONするまでの時間
マニュアルスタートの場合、スタート入力がONしてから安全出力がONするまでの時間
コントロールスタートの場合、スタート入力がOFF→ON→OFFしてから安全出力がONするまでの時間（ただし、ON状態を0.1s~5sの間だけ保持してください。）
- 注4. 電源投入から動作ステートに移行するまでの時間

●安全入力仕様

ドライブ端子仕様（T0、T1、T2、T3、T4、T5、T6、T7、T10、T11、T12、T13、T14、T15）	
定格ドライブ電圧	電源電圧
最小ドライブ電圧	電源電圧-2.0V
ドライブ点数	14
最大ドライブ電流	20mA/1点（DC28.8V時）注1)
レシープ端子仕様（X0、X1、X2、X3、X4、X5、X6、X7、X10、X11、X12、X13、X14、X15）	
定格入力電圧	DC24V
入力ON電圧	DC15V~28.8V
入力OFF電圧	オープン または DCOV~5V
入力点数	14
入力電流	10mA/1点（定格電源電圧時）
入力方式	シンク入力（PNP出力用）、Type 1（EN61131-2）
配線仕様	
配線長注2)	100m以下（1入力当たりの総配線長）
配線許容抵抗	300Ω以下

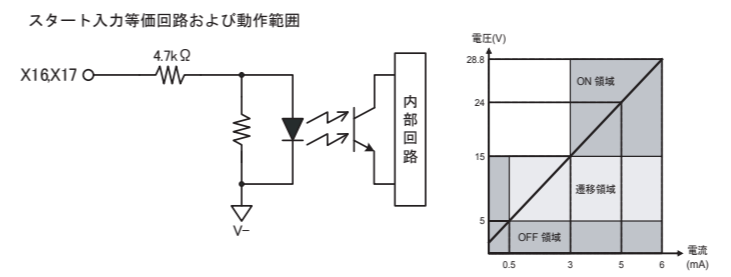
- 注1. 安全入力のドライブ端子は安全機器及び入力回路の診断のためパルス駆動されています。（設定されたロジックにより配線方法や診断機能が変更されます。詳細はユーザーズマニュアル“第5章 ロジック”を参照ください。ただし、基本仕様に変更はありません。）
- 注2. 耐電磁環境性を確保するため、セーフティワンと接続機器間の配線長が30m以上となる場合、もしくはドライブ端子側の配線とレシープ端子側の配線を分離する場合は、接地処理を行ったシールドケーブルをご使用ください。



●スタート入力仕様

定格入力電圧	DC24V
入力ON電圧	DC15V~28.8V
入力OFF電圧	オープン または DCOV~5V
入力点数	2（X16、X17）
入力電流	5mA/1点（定格電源電圧時）
入力方式	シンク入力（PNP出力用）、Type 1（EN61131-2）
配線長注1)	100m以下（1入力当たりの総配線長）
配線許容抵抗	300Ω以下

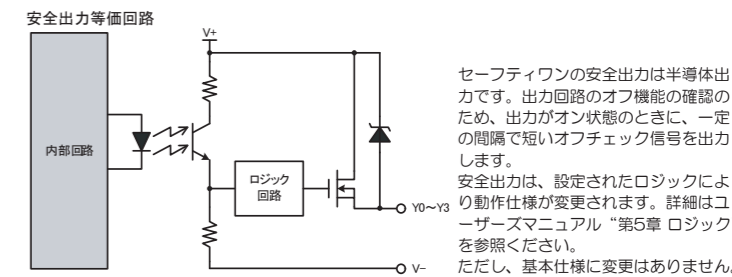
- 注1. 耐電磁環境性を確保するため、セーフティワンと接続機器間の配線長が30m以上となる場合は接地処理を行ったシールドケーブルをご使用ください。



●安全出力仕様

出力形式	ソース出力（N channel MOSFET）
定格出力電圧	電源電圧
最小出力電圧	電源電圧-2.0V
出力点数	4（Y0、Y1、Y2、Y3）
最大出力電流	1点 : 500mA以下 合計 : 1A以下
漏れ電流	0.1mA以下
誘導負荷注1)	L/R=25ms
許容容量負荷	1μF以下
配線長注2)	100m以下（1出力当たりの総配線長）

- 注1. 誘導負荷を接続する場合はダイオードなどの保護素子を接続ください。
- 注2. 耐電磁環境性を確保するため、セーフティワンと接続機器間の配線長が30m以上となる場合は接地処理を行ったシールドケーブルをご使用ください。



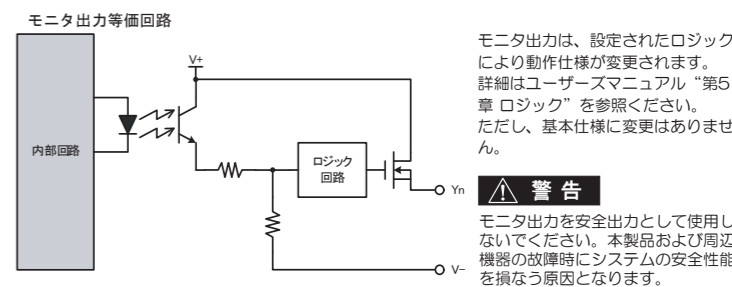
セーフティワンの安全出力は半導体出力です。出力回路のオフ機能の確認のため、出力がオン状態のときに、一定の間隔で短いオフチェック信号を出力します。安全出力は、設定されたロジックにより動作仕様が変わります。詳細はユーザーズマニュアル“第5章 ロジック”を参照ください。ただし、基本仕様に変更はありません。

- 注: 連続する機器の応答速度により、オフチェック信号に反応する可能性がありますのでご注意ください。モニタ出力およびソレノイド/ランプ出力ではオフチェック信号は出力されません。

●モニタ出力仕様

出力形式	ソース出力（N channel MOSFET）
定格出力電圧	電源電圧
最小出力電圧	電源電圧-2.0V
出力点数	11（Y4、Y5、Y6、Y7、Y10、Y11、Y12、Y13、Y14、Y15、Y16）
最大出力電流	1点 : 20mA以下 合計 : 220mA以下
漏れ電流	0.1mA以下
配線長注1)	100m以下（1出力当たりの総配線長）

- 注1. 耐電磁環境性を確保するため、セーフティワンと接続機器間の配線長が30m以上となる場合は接地処理を行ったシールドケーブルをご使用ください。



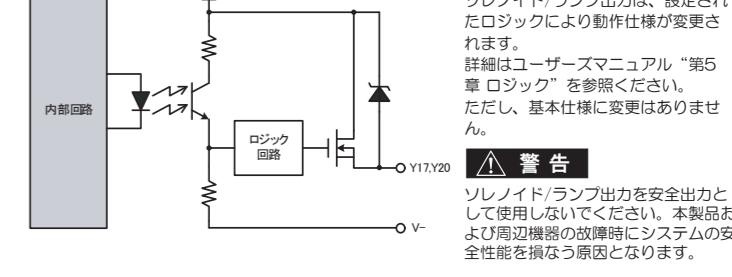
モニタ出力は、設定されたロジックにより動作仕様が変わります。詳細はユーザーズマニュアル“第5章 ロジック”を参照ください。ただし、基本仕様に変更はありません。

- 注: モニタ出力を安全出力として使用しないでください。本製品および周辺機器の故障時にシステムの安全性能を損なう原因となります。

●ソレノイド/ランプ出力仕様

出力形式	ソース出力（N channel MOSFET）
定格出力電圧	電源電圧
最小出力電圧	電源電圧-2.0V
出力点数	2（Y17、Y20）
最大出力電流	1点 : 500mA以下 合計 : 500mA以下
漏れ電流	0.1mA以下
誘導負荷注1)	L/R=25ms
配線長注2)	100m以下（1出力当たりの総配線長）

- 注1. 誘導負荷を接続する場合はダイオードなどの保護素子を接続ください。
- 注2. 耐電磁環境性を確保するため、セーフティワンと接続機器間の配線長が30m以上となる場合は接地処理を行ったシールドケーブルをご使用ください。



ソレノイド/ランプ出力は、設定されたロジックにより動作仕様が変わります。詳細はユーザーズマニュアル“第5章 ロジック”を参照ください。ただし、基本仕様に変更はありません。

- 注: ソレノイド/ランプ出力を安全出力として使用しないでください。本製品および周辺機器の故障時にシステムの安全性能を損なう原因となります。

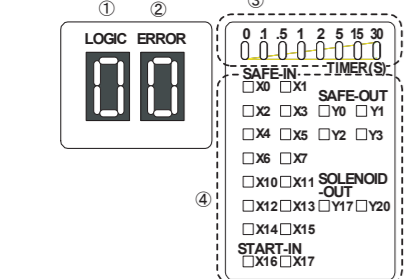
●ロジック番号

SafetyOneのロジック番号は下記に示すように、3桁で構成されています。

例1：LOGIC No.104

1桁目の“1”は、形番である”FS1A-C11S”を表しています。下2桁の“04”は、ロジック設定スイッチの状態を表しています。
ロジックLEDは下2桁を表示します。ただし、“0”は表示されません。

●表示仕様



①ロジックLED

表示	状態	内容
1..8 Ab,C,d	点灯	選択されたロジック番号（動作スタートもしくは保護スタート） （例：ロジック14Aの場合 4 → A → 4 → A → 4 → …）
	点滅	選択されたロジック番号（設定スタート） （例：ロジック14Aの場合 4 → A → 消灯 → 4 → A → …）
E	点滅	ロジック設定異常（ロジックが未選択、もしくは不正な複数選択 ^{※1} ）
ランダム	点灯/点滅	初期化処理中（初期化スタート）
消灯	消灯	異常発生時（停止スタート）

注1、ロジック設定は、スイッチ1番から8番のいずれかを選択、もしくは、スイッチ1から4のいずれかを選択およびA,b,C,d（5から8）のいずれかを選択することが正常であり、それ以外の複数選択は不正となります。

②エラーLED

表示	状態	内容
1	点灯	入力監視異常（保護スタート）
2	点灯	安全入力配線もしくは安全入力回路異常
3	点灯	スタート入力配線もしくはスタート入力回路異常
4	点灯	安全出力配線もしくは安全出力回路異常
5	点灯	ミュートィングランプ異常（断線）（ロジック11dのみ）
6	点灯	供給電源もしくは内部電源回路異常
7	点灯	内部回路異常、供給電源もしくは内部電源回路異常
9	点灯	ノイズフィルタ異常
C	点灯	ロジックもしくはタイマ設定中（設定スタート）
	点滅	ロジックもしくはタイマ設定が有効 ^{※1} （設定スタート）
ランダム	点灯/点滅	初期化処理中（初期化スタート）
消灯	消灯	通常動作（動作スタート）

注1、エンターボタン押下後1秒から5秒の間点滅します。点滅の間にボタンのリリースすると設定が完了し、動作スタートへ移行します。（5秒以上押下し続けると点滅から点灯が変わり、ボタンのリリースを行っても設定が無効となり、動作スタートへの移行を行いません。）

③タイマLED

表示箇所	状態	内容
0	点灯	オフディレータイマ設定なし（安全出力即断）
.1	点灯	オフディレータイマ設定0.1秒
.5	点灯	オフディレータイマ設定0.5秒
1	点灯	オフディレータイマ設定1秒
2	点灯	オフディレータイマ設定2秒
5	点灯	オフディレータイマ設定5秒
15	点灯	オフディレータイマ設定15秒
30	点灯	オフディレータイマ設定30秒
各LED	点滅	選択されたタイマ値（設定スタート）
ランダム	点灯/点滅	初期化処理中（初期化スタート）
消灯	消灯	オフディレータイマ値が未選択もしくは停止スタート時

④入力LED：SAFE-IN (X0～X15)、START-IN (X16, X17)

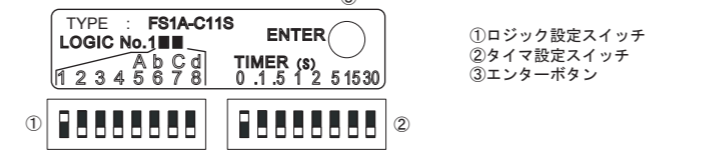
表示箇所	状態	内容
X0～X15	点灯	入力ON
	消灯	入力OFFもしくは停止スタートもしくは設定スタート時
	点滅	入力異常発生（発生箇所が点滅し、異常内容はエラーLEDにて表示）
X16, X17	点灯	入力ON
	消灯	入力OFFもしくは停止スタートもしくは設定スタート時
点滅	入力異常発生（発生箇所が点滅し、異常内容はエラーLEDにて表示）	

入カステータスLEDは、設定されたロジックにより表示仕様が変わります。

④出力LED: SAFE-OUT (Y0～Y3)、SOLENOID-OUT (Y17, Y20)

表示箇所	状態	内容
Y0～Y3	点灯	出力ON
	消灯	出力OFFもしくは停止スタートもしくは設定スタート時
	点滅	オフディレータイマ動作中、または出力異常発生（発生箇所が点滅し、異常内容はエラーLEDにて表示）
Y17, Y20	点灯	出力ON
	消灯	出力OFF状態、停止スタートもしくは設定スタート時

●設定スイッチ仕様



①ロジック設定スイッチ

ロジック設定用8連のDIPスイッチ。スイッチ1番から8番のいずれかを選択、もしくは、スイッチ1から4のいずれかを選択及びA,b,C,d（5から8）のいずれかを選択することで、セーフティワンに内蔵されたロジックの一つが、有効になります。各ロジックの詳細は“第5章 ロジック”をご参照ください。スイッチは上に押し上げた状態でONと認識されます。不正な複数選択はできません。

②タイマ設定スイッチ

オフディレータイマ値設定用8連のDIPスイッチ。スイッチ1番から8番のいずれかを選択することで、セーフティワンを出力OFF制御した時の遅延時間が設定できます。スイッチは上に押し上げた状態でONと認識されます。複数選択は出来ません。

スイッチ設定	スイッチ番号	内容
0	1	オフディレータイマ設定なし（安全出力即断）
.1	2	オフディレータイマ設定0.1秒
.5	3	オフディレータイマ設定0.5秒
1	4	オフディレータイマ設定1秒
2	5	オフディレータイマ設定2秒
5	6	オフディレータイマ設定5秒
15	7	オフディレータイマ設定15秒
30	8	オフディレータイマ設定30秒

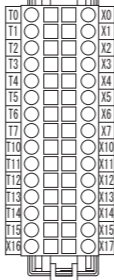
③エンターボタン

設定の有効化ボタン。設定スタート時に、各設定スイッチが正常に設定された状態（未選択もしくは複数選択でない状態）で、一定時間内のボタン押し込みを行うと設定が有効となります。エンターボタン押下後1秒から5秒の間エラーLEDが点滅します。点滅の間にボタンをリリースすると設定が完了し、動作スタートへ移行します。（5秒以上押下し続けると点滅から点灯が変わり、ボタンのリリースを行っても設定が無効となり、動作スタートへの移行を行いません。）

各設定スイッチの操作はセーフティワンに付属された設定ツールをご利用ください。

●コネクタ仕様

入力用コネクタ

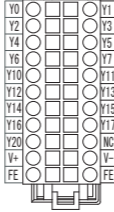


適合コネクタ：スプリングクランプタイプ (30種)
FS9Z-CN01 (IDEC製)
【タイコエレクトロニクスジャパン社製：2-1871940-5】
：圧着タイプ (20種) 注1)
【タイコエレクトロニクスジャパン社製：2-1871946-5】

端子名称	端子番号	用途	端子名称	端子番号	用途
T0	A1	安全入力ドライブ端子0	X0	B1	安全入力レシーブ端子0
T1	A2	安全入力ドライブ端子1	X1	B2	安全入力レシーブ端子1
T2	A3	安全入力ドライブ端子2	X2	B3	安全入力レシーブ端子2
T3	A4	安全入力ドライブ端子3	X3	B4	安全入力レシーブ端子3
T4	A5	安全入力ドライブ端子4	X4	B5	安全入力レシーブ端子4
T5	A6	安全入力ドライブ端子5	X5	B6	安全入力レシーブ端子5
T6	A7	安全入力ドライブ端子6	X6	B7	安全入力レシーブ端子6
T7	A8	安全入力ドライブ端子7	X7	B8	安全入力レシーブ端子7
T10	A9	安全入力ドライブ端子10	X10	B9	安全入力レシーブ端子10
T11	A10	安全入力ドライブ端子11	X11	B10	安全入力レシーブ端子11
T12	A11	安全入力ドライブ端子12	X12	B11	安全入力レシーブ端子12
T13	A12	安全入力ドライブ端子13	X13	B12	安全入力レシーブ端子13
T14	A13	安全入力ドライブ端子14	X14	B13	安全入力レシーブ端子14
T15	A14	安全入力ドライブ端子15	X15	B14	安全入力レシーブ端子15
X16	A15	スタート入力端子16	X17	B15	スタート入力端子17

注1、圧着タイプの仕様については、タイコエレクトロニクスジャパン社へお問い合わせください。

出力用コネクタ



適合コネクタ：スプリングクランプタイプ (20種)
FS9Z-CN02 (IDEC製)
【タイコエレクトロニクスジャパン社製：2-1871940-1】
：圧着タイプ (20種) 注1)
【タイコエレクトロニクスジャパン社製：2-1871946-1】

端子名称	端子番号	用途	端子名称	端子番号	用途
Y0	A1	安全出力端子0	Y1	B1	安全出力端子1
Y2	A2	安全出力端子2	Y3	B2	安全出力端子3
Y4	A3	モニタ出力端子4	Y5	B3	モニタ出力端子5
Y6	A4	モニタ出力端子6	Y7	B4	モニタ出力端子7
Y10	A5	モニタ出力端子10	Y11	B5	モニタ出力端子11
Y12	A6	モニタ出力端子12	Y13	B6	モニタ出力端子13
Y14	A7	モニタ出力端子14	Y15	B7	モニタ出力端子15
Y16	A8	モニタ出力端子16	Y17	B8	ソレノイド/ランプ出力端子17
Y20	A9	ソレノイド/ランプ出力端子20	NC	B9	空き端子
V+	A10	電源DC24V端子	V-	B10	電源DC0V端子
FE	A11	機能接地端子	FE	B11	機能接地端子

注1、圧着タイプの仕様については、タイコエレクトロニクスジャパン社へお問い合わせください。

4 設置および配線

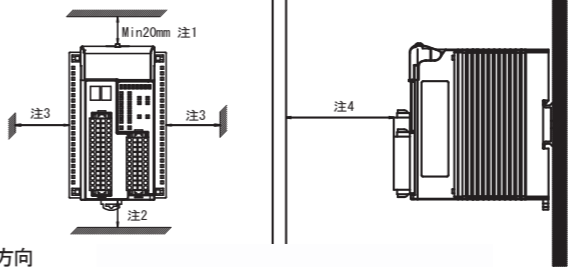
●設置場所

製品を制御盤などに設置する際は、設置環境が製品仕様に適合していることを確認ください。下記のような環境（場所）もしくは製品仕様を超えた環境下での使用は感電や火災、故障、誤動作の原因となりますので避けてください。

- 誘導機器、熱源の近く
- 塵埃、塩分、鉄粉などの多い場所
- 腐食性ガス、可燃性ガスの発生する場所
- セーフティワンに直接振動や衝撃が伝わる場所

メンテナンス性や通気性を考慮し、下図に示すように周囲取付物、および顔面から十分なスペースを空けて取り付けてください。周囲温度が-10～+55℃以内の環境でご使用ください。

- 注1. 保護カバーの開閉を考慮してください。Min20mm)
- 注2. DINレールへの取付けおよび通気性を考慮してください。(目安20mm程度)
- 注3. セーフティリレーなどの取付け機器（発熱体）との距離を考慮してください。(目安40mm程度)
- 注4. 入力用コネクタに配線された電線の取回しを考慮してください。(目安80mm程度)



●設置方向

セーフティワンは図1のように必ず垂直面に取り付けてください。図2に示すような上向き、横向きおよび下向きには取り付けないでください。

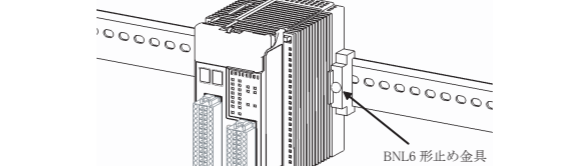


図1. 正しい設置方向

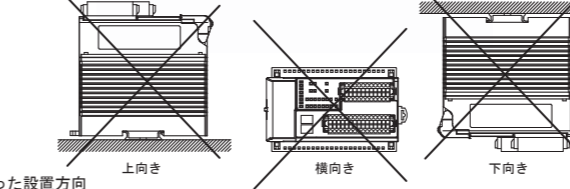


図2. 誤った設置方向

●DINレールへの取り付け

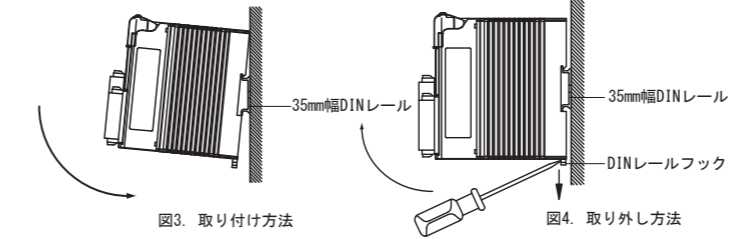
本製品は、35mm幅のDINレールを用いて、以下の手順に従い取り付け、取り外しを行ってください。適合レールにはBAA1000形（IDEC製）などがあります。

取り付け方法

- DINレールを取付板にしっかりとねじ止めして固定ください。
- 図3のように、セーフティワン本体の上部を上にして、裏面満部をはめ込み、矢印の方向へ押し付けてください。
- 本体高側には固定のために、止め金具（別売）をご利用してください。止め金具にはBNL6形（IDEC製）などがあります。

取り外し方法

- 図4のように、DINレールフック貫孔にマイナスドライバーを差し込んでください。
- DINレールフックを“カチッ”と音がするまで引き下けてください。
- 本体を手前に引く感じで持ち上げ、DINレールから外します。



●配線方法

本製品にはスプリングクランプタイプ（付属品）と圧着タイプ^{※1}の2種類のコネクタのご使用が可能です。

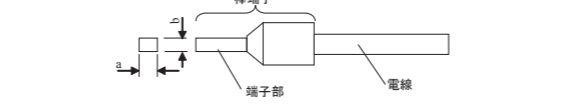
注1、圧着タイプの仕様については、タイコエレクトロニクスジャパン社へお問い合わせください。

コネクタの本体への接続方法

コネクタをセーフティワン本体へ接続する際には、最後までコネクタが挿入されるとバチンといった音や感覚（クリック感）がありますので、必ず最後までまっすぐに挿入してください。引き抜きの際はロック部を完全に押し下げてから引き抜いてください。ロック部の押し下げが不完全なまま引き抜こうとすると、ロックが引っかかり、コネクタや電線にダメージを与える原因となります。

●適合電線/棒端子サイズ（スプリングクランプタイプ）

適合電線のサイズを以下に記します。
AWG#18～24(推奨電線UL1007)、ストリップ長：7.0±0.3mm
ただし、棒端子を圧着して使用される場合は端子部寸法が以下の条件を満たしてください。
長辺：1.21mm (Max.)～長辺：1.02mm (Min.)（下図“a”部）
短辺：1.21mm (Max.)～短辺：0.95mm (Min.)（下図“b”部）
対応電線範囲：AWG#24 (推奨電線UL1007)



●スプリングクランプタイプコネクタへの配線

コネクタへの配線は製品本体からコネクタを引き抜いた状態で行ってください。コネクタや製品本体を破損させる原因となります。

電線の結線方法は結線ツール（1891348-1【タイコエレクトロニクスジャパン社製】）か市販のドライバーを使用する方法があります。ただし、コネクタのハウジングやスプリングへの傷や破損を極力避けるために、専用の結線ツールの使用を推奨します。再接続の際は同じ線種、同じ太さの電線のみ使用可能です。

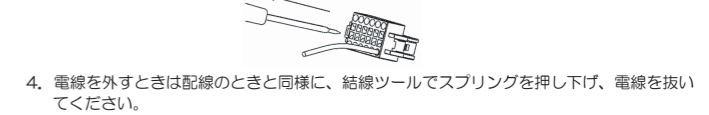
結線ツールを用いた配線

1. 結線ツールをコネクタのツール挿入スロットに斜めから、ツールがとまる位置まで挿入します。



2. 電線をワイヤ挿入スロットに挿入します。（より線の場合、線がバラけ無いよう若干捻ってください。）

3. 電線を押し付けたまま結線ツールを引き抜くと、配線は完了です。電線を軽く引っ張り、確実に配線されているか確認ください。



4. 電線を外すときは配線のときと同様に、結線ツールでスプリングを押し下げ、電線を抜いてください。

- ドライバーをコネクタのツール挿入スロットに斜めに挿入し、スプリングをこじめるよう押し下げます。ドライバーを強く差し込みすぎるとコネクタを破損する原因となりますので注意してください。ワイヤ挿入スロットには絶対にドライバーを差し込まないでください。
- 上記1の状態を保持したまま、電線をワイヤ挿入スロットに挿入します。（より線の場合、線がバラけ無いよう若干捻ってください。）
- 電線を押し付けたままドライバーを引き抜くと、配線は完了です。電線を軽く引っ張り、確実に配線されているか確認してください。
- 電線を外すときは配線のときと同様に、ドライバーでスプリングを押し下げ、電線を抜いてください。

5 安全性能

セーフティワンは安全出力を二重化出力として使用する場合、安全カテゴリB～4、パフォーマンスレベルa～eまでのシステムにご使用できます。（EN ISO13849-1）
安全出力を一重化出力として使用する場合は、安全カテゴリB～3、パフォーマンスレベルa～dまでのシステムにご使用できます。（EN ISO13849-1）

低需要モード平均故障確率（PFd）と高需要モード危険側故障確率（PFH）

・安全出力を二重化出力として使用する場合

以下に、二重化出力の場合の低需要モード平均故障確率（PFd）と高需要モード危険側故障確率（PFH）を記載します。PFd/PFHは、セーフティワンを用いた安全システムに適用される安全性インテグリティレベル（SIL）の算出に必要です。セーフティワンはSIL1～3までのシステムにご使用できます。（IEC61508）

定期機能診断間隔 ^{※1}	低需要モード平均故障確率（PFd）	高需要モード危険側故障確率（PFH）
6ヶ月	< 2.1x10 ⁻⁶	< 7.1x10 ⁻⁶
1年	< 3.6x10 ⁻⁶	
2年	< 6.7x10 ⁻⁶	
5年	< 1.6x10 ⁻⁴ (SIL2)	
10年	< 3.2x10 ⁻⁴ (SIL2)	

・安全出力を一重化出力として使用する場合

以下に、一重化出力の場合の低需要モード平均故障確率（PFd）と高需要モード危険側故障確率（PFH）を記載します。PFd/PFHは、セーフティワンを用いた安全システムに適用される安全性インテグリティレベル（SIL）の算出に必要です。セーフティワンはSIL1～2までのシステムにご使用できます。（IEC61508）

定期機能診断間隔 ^{※1}	低需要モード平均故障確率（PFd）	高需要モード危険側故障確率（PFH）
6ヶ月	< 4.1x10 ⁻⁶	< 1.6x10 ⁻⁶
1年	< 7.5x10 ⁻⁶	
2年	< 1.5x10 ⁻⁴	
5年	< 3.6x10 ⁻⁴	
10年	< 7.0x10 ⁻⁴	

注1、定期機能診断間隔^{※1}を行う点検項目についてはユーザーズマニュアル“付録”内の保守・点検を参照ください。

平均危険側故障時間（MTTF_a）と診断範囲（DC）

・安全出力を二重化出力として使用する場合
以下に、一重化出力の場合の平均危険側故障時間（MTTF_a）と診断範囲（DC）を記載します。MTTF_a/DCは、セーフティワンを用いた安全システムに適用されるパフォーマンスレベル（PL）の算出に必要です。セーフティワンはPLa～eまでのシステムにご使用できます。（EN ISO13849-1）

平均危険側故障時間(MTTF _a)	診断範囲(DC)
100年	High

・安全出力を一重化出力として使用する場合
以下に、一重化出力の場合の平均危険側故障時間（MTTF_a）と診断範囲（DC）を記載します。MTTF_a/DCは、セーフティワンを用いた安全システムに適用されるパフォーマンスレベル（PL）の算出に必要です。セーフティワンはPLa～dまでのシステムにご使用できます。（EN ISO13849-1）

平均危険側故障時間(MTTF _a)	診断範囲(DC)
100年	Medium

6 設定及び操作

セーフティワンの各種設定、操作及び配線を行う際は、最新のユーザーズマニュアル（形番：FS9Z-B1219）をお読み頂き、正しくご使用ください。

IDEC株式会社

<http://www.idec.com/japan/>

本 社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64 TEL:06-6398-2500
取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記の製品問合せ窓口へお問い合わせ下さい。

【製品問合せ窓口】

0120-992-336

携帯電話・PHSの場合 050-8882-5843

お問い合わせ時間：
9:00～12:00 / 13:00～17:00
※土・日曜、祝日および弊社休日を除く